

幼稚園児から高齢者まで多彩な活動実践

普及・啓発

イベント開催

徳島県 板野町

所在地：徳島県板野郡板野町吹田字町南22-2
 主な担当課：産業課、消費生活相談所
 人口：13,564人(平成30年6月25日現在)
 世帯数：5,621世帯(平成30年6月25日現在)

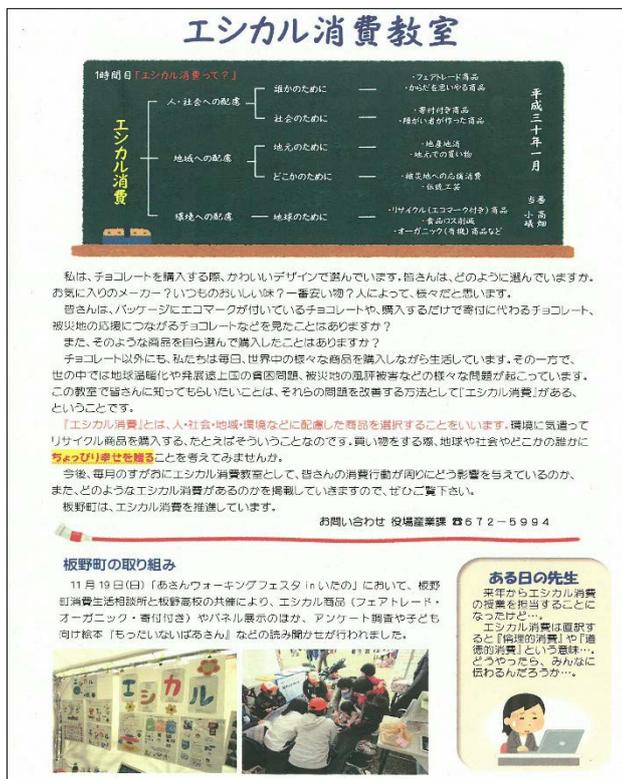
○事業・活動の概要

地域課題の解決や持続可能なまちづくりを実現するモデルとなる取組を推進する市町村として、平成29年5月に、徳島県から徳島版「地方創生特区」(県版特区)の指定を受けた。そのテーマの一つである「エシカル消費の浸透」を目指し、平成29年7月から、板野町産業課と消費生活相談所が中心となり、エシカル消費の普及・啓発を行っている。

小学校や老人クラブへの出前講座、町内で開催されるイベントでのパネル展示、板野町内の町立小学校と中学校に対して夏休みの課題を募集するなど、エシカル消費の普及・啓発のための活動は多彩である。

○広報誌での普及・啓発

平成30年1月から、板野町広報誌に、エシカル消費の普及・啓発を目的とした記事「エシカル消費教室」の掲載を始めた。板野町産業課の担当者が「堅苦しくなく、入りやすい」を意識し、学校で新任教師が「エシカル消費」について授業をするという設定で作成している。



エシカル消費教室

1時間目「エシカル消費って？」

人・社会への配慮	誰かのために	フェアトレード商品 ・かたごをいれる商品
社会への配慮	社会のために	寄付付き商品 ・種がいのが作った商品
地域への配慮	地元のために	地域産品 ・地元の果物
地域への配慮	どこかのために	被災地への支援物資 ・復興工券
環境への配慮	地球のために	リサイクル(エコマーク)商品 ・食品ロス削減 ・オーガニック(有機)食品など

手帳三十年一月
 担当 小高 瑞加

私は、チョコレートを購入する際、かわいいうデザインで選んでいます。皆さんは、どのように選んでいますか。お気に入りのメーカー？いつものお気に入りの一番安い物？人によって、様々な思いがあります。

皆さんは、パッケージにエコマークが付いているチョコレートや、購入するだけで寄付に代わるチョコレート、被災地の応援につながるチョコレートなどを見たことはありますか？

また、そのような商品を自ら選んで購入したことはありますか？

チョコレート以外にも、私たちは毎日、世界中の様々な商品を購入しながら生活しています。その一方で、世の中では地球温暖化や貧困問題、被災地の風評被害などの様々な問題が起っています。この教室で皆さんに知ってもらいたいことは、それらの問題を改善する方法として「エシカル消費」がある、ということです。

『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することをいいます。環境に気遣ってリサイクル商品を購入する、たとえお高いものでも、興味のある商品、地球や社会やどこかの誰かに「ちょっぴり幸せを贈る」ことを考えてみませんか。

今後、毎月のすがおにエシカル消費教室として、皆さんの消費行動がどのように影響を与えているのか、また、どのようなエシカル消費があるのかを掲載していきますので、ぜひご覧下さい。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

板野町の取り組み

11月19日(日)「あさんウォーキングフェスタ in いたの」において、板野町消費生活相談所と板野高校の共催により、エシカル消費(フェアトレード・オーガニック・寄付付き)やパネル展示のほか、アンケート調査や子ども向け絵本「もったいないばあさん」などの読み聞かせが行われました。

ある日の先生

新年からエシカル消費の授業を担任することになったけど…エシカル消費は難しいよ！「倫理的消費」や「道徳的消費」という意味…どうやって、みんなに伝わらそうかな…

1月号では人・社会への配慮を「誰かのために」、「社会のために」と言い換え、「買物をする際、地球や社会やどこかの誰かにちょっぴり幸せを贈ることを考えてみませんか？」とエシカル消費について説明している。

板野町役場の隣には「就労継続支援B型事業所」があり、5月号の取材に行ったところ、板野町特産のにんじんを使ったパウンドケーキを作っていることを知り、役場のエントランスで販売を行うことになった。ケーキと一緒に「エシカル消費教室」の誌面も配布することで、事業所の活動とエシカル消費を一緒にPRすることができた。

○活動実績

時期	対象	内容
平成29年7月	板野西幼稚園	藍の生葉染め体験とエシカル消費の啓発
7月8月	町立小学校中学校	夏休み課題募集(標語・作文・ポスターのいずれか)小学生テーマ「もったいない！をかんがえよう」中学生テーマ「エシカル消費について考えてみよう」
7月	小学生の親子	藍の生葉染め体験とエシカル消費の講座
8月	一般	講師を招き、エシカル消費についての講座
8月	一般	「いたの子どもフェスティバル」でのパネル展示
10月	板野町商工会女性部	消費者被害やエシカル消費についての講座
11月	一般	「あさんウォーキングフェスタ in いたの」にてフェアトレード商品や寄付付き商品の展示、エシカル消費についてのパネル展示等
12月	吹田長寿会	消費者被害や食品ロスを切り口としたエシカル消費に関する講座
平成30年1月	一般	板野町広報誌で「エシカル消費教室」の掲載開始(12回連載予定)板野町エシカル消費推進宣言
1月	成人	板野町成人式にて、フェアトレードに関するパネル展示と消費者被害防止の啓発。フェアトレードのチョコレートとリーフレットを配布。
1月	民生児童委員	消費者被害や食品ロスを切り口としたエシカル消費に関する講座
1月	つくしの会	消費者被害や食品ロスを切り口としたエシカル消費に関する講座
1月2月	小学校3校	「エシカルってなあに？」商品に付いているマークやもったいないをテーマにした講座
3月	一般	「ひなまつりフェスタ」にてエシカル消費についての啓発
3月	蓮教寺	消費者被害や食品ロスを切り口としたエシカル消費に関する講座
3月	老人クラブ	消費者被害や寄付付き商品を切り口としたエシカル消費に関する講座

○高齢者への普及・啓発

板野町では、消費生活相談所の職員3名が、小学校や老人クラブへ出前講座を行っている。特に高齢者向けの講座では、消費者被害防止の呼び掛けと併せて、エシカル消費についても説明することにした。

高齢者はおおむね「もったいない」という意識が高いため、食品ロス的话题を切り口に、買物に行った時に商品についている認証ラベルについての説明をし、「そのような商品を選ぶことが人や環境のためにつながる」という説明を行っている。また、参加者からの「マークが小さくて分かりづらい」という意見に対しては、「そのような消費者の意見を伝えることも大切だ」と説明している。

講座に使用する教材の一つとして、消費生活相談所では、「もったいない」をテーマに、食品ロスとフェアトレードについての紙芝居を作成した。セリフには阿波弁を多用し、地元ならではの商品や話題を盛り込むことで、楽しく学んでもらえるように工夫をした。



○小・中学生への普及・啓発

板野町では、役場と消費生活相談所と教育委員会の3団体が協力し、町内の小学校や中学校で、エシカル消費を学ぶ機会を作っている。平成29年度に初めて、夏休みの課題として、消費者問題に加え、小学生には「もったいない！をかんがえよう」、中学生には「エシカル消費について考えてみよう」というテーマで、標語・作文・ポスターをそれぞれ募集した。約50作品の応募があり、平成30年度も継続する予定である。

また、伝統工芸を大切にすることもエシカル消費につながるとして、「藍染め」体験教室を開催し、エシカル消費について学習する機会を設けた。平成29年7月に幼稚園で同教室を開催した際に、保護者からエシカル消費についてより詳しく知りたいという要望があり、平成30年6月の授業参観日にエシカル消費についての講座を行うことになった。

低学年には、エシカル消費に関連する認証ラベルのマークがついている商品を題材に、資源を大切にすることを伝え、家庭でできる節約や節電について考えてもらった。

○イベントでの普及・啓発

平成29年11月には、毎年約4,000名が参加するイベント「あさんウォーキングフェスタ」において、展示ブースを設置し、エシカル消費に関連した商品や啓発パネルの展示を行った。このイベントでは、使用した紙コップの回収を行うなど環境に配慮した取組も実施している。さらに、平成30年には、徳島県内にあるパルプメーカーに依頼し、広島県広島市の平和記念公園に捧げられた折り鶴からできた再生パルプを使い、参加者のナンバーカードを作成する予定である。

平成30年1月の板野町成人式では、フェアトレードについてのリーフレットとチョコレートを配布し、会場内ではフェアトレードと消費者被害の防止に関するパネル展示を行った。

○課題と今後の取組

平成29年度に続き、平成30年度も継続して多様な普及・啓発活動を実施する予定である。既に平成30年4月から6月までの3か月間で、出前講座を10回開催し、四国八十八箇所霊場第3番札所「金泉寺」では板野町産の規格外の春にんじんを使ったクッキーの配布と併せて、エシカル消費のパネル展示を行った。

担当者が感じている主な課題は二つあり、一つは、普及・啓発のためのツールが乏しく、自分たちで一から作成しなければならないことである。参加者に合う内容にするために、自由に使えるイラストや画像などの素材を求めている。もう一つは、20～30代への普及・啓発の機会が少ないことである。消費行動が活発な世代への普及・啓発の機会をどのように作るかということに頭を悩ませている。

今後の普及・啓発活動を検討するために、平成30年6月に、町内の幾つかの団体を集め、エシカル消費について、現在取り組んでいることや今後取り組みたいことなどについて話す座談会を実施した。

板野町では、今後も多様な主体と協力し、様々な活動を積み重ねることによって、町民へのエシカル消費の浸透を目指す予定である。



公表日：平成30年8月17日 取材：平成30年6月
外部リンク：<http://www.town.itano.tokushima.jp/>